◆保健教育「けがの手当」指導案・教材の使い方◆

・本教材は，学活や健康診断時の保健教育（短時間）で活用することを想定して作成しています。「患部の清潔」，「圧迫止血」という２つのけがの手当の原則を基に，自らが可能な手当を考えることで日常生活におけるけがの手当の実践力を高めます。

・学級担任と養護教諭のチーム・ティーチングで指導をする想定で作成していますが，養護教諭が単独で行う保健教育にもご活用ください。学習の目的や時間に応じて改変してご活用ください。

・PowerPoint教材にはけがの写真が出てきます。写真はイメージ写真であり，実際のけが写真ではありませんが，ショックを受ける子どもがいることも想定されます。その場合は，教材の終末にあるイラストタッチバージョンのスライドに差し替えてください。

・PowerPoint教材のノートにある「●」印でクリックするとアニメーションが始まります。学習の目的や時間に合わせて編集可能です。

・指導のイメージを持ちやすいようPowerPoint教材のノートに発問や説明例を記載しました。参考として捉えてください。子どもの実態に応じた言葉や，指導時の最新の手当の情報と知見に基づいた内容に改変してご活用ください。

・本教材では，どの学年の子どもも，日常場面において手当が可能と考えられる「患部の清潔」「圧迫止血」の２つのけがの手当の原則を扱いました。本教材を体育科保健領域「けがの防止」けがの手当の学習に活用する際は,「患部を冷やす」を加えることが必要です。

　　　令和３年度作成　新潟県・新潟市小学校教育研究会（<https://n-shokyoken.jp/>）

「けがの手当」学級活動（保健）学習指導案

T1学級担任　T2養護教諭

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 教師の働き掛けと子どもの反応 | 備考 |
| 導入 | T2「このグラフを見てください。さて，何のグラフでしょう」  C 「うーん，何のグラフだろう」  T2「これは保健室に来た人のけがの種類のグラフです。どんなけがが多いですか」  C 「擦り傷，打撲，鼻血が多い！」  T1「擦り傷，鼻血といった血が出るけがをしたらどうしますか」  C 「保健室に行きます」  C 「家の人に言って,絆創膏を貼ってもらう」  T1「そうですね，近くにいる先生や大人の人に助けを求めるのは大事なことですね。でも，傷の手当は，先生や大人しかできないのでしょうか」  C 「自分でも手当はできそう。でも自分でどのように手当をしたらよいのだろう」  **学習課題**  血が出るけがのとき，自分でどのように手当をしたらよいのだろう。 | 保健室利用状況のグラフを提示する。 |
| 展開 | T2「血が出るけがをしたとき，自分でどのような手当ができそうですか。擦り傷と  鼻血の手当をそれぞれ考えてみましょう」  T2「手当に使えるものはこちらです。近くの人と使い方を考えてみましょう」  【鼻血】  C「ティッシュや鼻栓を詰める」  C「鼻を押さえて，周りに血が落ちないようにする」  C「鼻を冷やす」  【擦り傷】  C「ティッシュで血を拭くよ」  C「ばんそうこうを貼る」  C「土を洗い流すために水で洗う。ティッシュで水気を拭いたらばんそうこうを貼る」  T1「考えた手当を発表しましょう」  　※　代表の子どもに材料を使って手当をするよう指示する。  　※　補足があれば発表を促す。  　※　補助発問「どのくらい洗い流しますか」「どこをどのくらいの間，押さえますか」  想定される子どもの手当【鼻血】  鼻にティッシュか鼻栓を詰める。  ※　キーゼルバッハ部位を押さえていない。  想定される子どもの手当【擦り傷】  傷口に水を流し，ティッシュで拭いて絆創膏を貼る。  ※　汚れを洗い流していない。  ※　傷口を押さえて止血していない。  T2「自分たちなりの手当を考えられましたね。手当のプロの○○先生（養護教諭）が手当のコツを伝授します。手当のコツは２つあります」  　※　清潔にする：汚れが見えなくなるまで傷口を水で優しく洗い流す。  　※　圧迫止血する：傷口の上を３分間以上ぎゅっと押さえる。 | 擦り傷と鼻血の画像を提示する。  救急処置材料としてティッシュ，鼻栓，水道,絆創膏の画像を提示する。  手当のシミュレーションをする。救急処置材料（ティッシュ，鼻栓，水道に見立てたペットボトル，絆創膏）を提示する。  手当のコツを説明する。 |
| まとめ | T1「手当のコツを伝授されましたね。では，まとめです。擦り傷と鼻血のとき，自分でどのような手当ができそうですか」  　※　擦り傷：「どのくらいまで水道で洗い流しますか」と洗浄の目安を問い返す。  　※　鼻血：「鼻のどのあたりを押さえますか」「何分くらい押さえますか」と圧迫部位と時間を問い返す。  **まとめ**  ①擦り傷：土が見えなくなるまで水で優しく洗い流す。  ②鼻　血：ティッシュで押さえながら小鼻のあたりを３分間以上ぎゅっとつまむ。  T2「これらは保健室に来る前にできる手当ですね。ぜひ，これからの生活に活用してみましょう」 |  |